

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.23

2018年6月発行

住み慣れた地域での生活を支える移動販売

笑顔で待っていてくれる地域住民のために日々巡回



今回の「地域のいきいき活動」は、西土佐地域の移動販売をご紹介します。

西土佐江川崎にお店を構えている竹崎商店さんは、下家地・中家地・岩間・大宮といった地区を対象に移動販売も行っています。

西土佐地域の高齢化率は約46.6%（平成30年6月1日時点）となっております。中山間地域では買い物に苦労される方が多く、複数の移動販売車が販売エリアを決めて運行しており、地域の高齢者の日常生活を支えています。

今回、取材で同行させていただいた大宮地区では、車載スピーカーから流れる音声案内が聞こえると馴染みのお客さんが家から出て来られ、車に積まれてある生鮮食品やお惣菜、パンや日用雑貨などを慣れた様子で品定めされており、何気ない世間話に会話がはずんでいました。

実際にお買い物をしていただいていた高齢者にお話しを伺ったところ、「車にも乗れんし、足腰も弱ってきた。定期的に家の前まで来てくれるおかげで自分の目で見て買い物できる。」と笑顔で話されていました。

広範な地域を巡回し商品を販売するという点で負担も大きいようですが、竹崎商店さんからは「待っていてくれる人がいるので、可能な限り続けていくよ。」と力強く話されており、こうした活動が住民の「住み慣れた地域で住み続けたい」という想いを支える貴重な社会資源となっているようです。



※市内の移動販売サービスについては、「四万十市高齢者在宅生活ガイドブック」をご覧ください。